



Firepower 1000/2100 および Cisco Secure Firewall 3100/4200 セキュリティアプライアンス CLI について

このトラブルシューティングガイドでは、Firepower 1000、Firepower 2100、Cisco Secure Firewall 3100、および Cisco Secure Firewall 4200 セキュリティアプライアンスシリーズの Firepower eXtensible オペレーティングシステム (FXOS) コマンドラインインターフェイス (CLI) について説明します。



(注) SSH クライアント管理ポートの CLI は Secure Firewall Threat Defense にデフォルト設定されません。FXOS CLI にアクセスするには、**connect fxos** コマンドを使用します。

Firepower 1000/2100、Cisco Secure Firewall 3100、および Cisco Secure Firewall 4200 コンソールポートでは、FXOS CLI プロンプトがデフォルトの CLI になります。Threat Defense CLI には、**connect ftd** コマンドを使用してアクセスできます。

FXOS CLI にログインすると、以下で説明するコマンドを使用して、Firepower 1000、Firepower 2100、Cisco Secure Firewall 3100、および Cisco Secure Firewall 4200 シリーズ デバイスの FXOS プラットフォームを表示してトラブルシューティングできます。

Firepower 1000/2100、Cisco Secure Firewall 3100、または Cisco Secure Firewall 4200 デバイスに Threat Defense がインストールされている場合、FXOS CLI では設定を変更できません。FXOS CLI で設定の変更を試みると、**commit-buffer** コマンドによりエラーが返されます。

Threat Defense CLI の詳細については、[Threat Defense のコマンドリファレンス](#)を参照してください。

- [FXOS CLI の階層 \(2 ページ\)](#)
- [CLI に関するオンラインヘルプ \(3 ページ\)](#)

FXOS CLI の階層

FXOS CLI のコマンドモードは階層構造になっており、EXEC モードが階層の最上位となります。高いレベルのモードは、低いレベルのモードに分岐します。高いレベルのモードから1つ低いレベルのモードに移動するには、**create**、**enter**、および **scope** コマンドを使用します。また、モード階層で1つ高いレベルに移動するには、**exit** コマンドを使用します。また、モード階層の最上位に移動するには **top** コマンドも使用できます。

各モードには、そのモードで入力できるコマンドのセットが含まれています。各モードで使用できるコマンドの大部分は、関連する管理対象オブジェクトに関連しています。

各モードの CLI プロンプトには、モード階層における現在のモードのフルパスが表示されます。これにより、コマンドモード階層内での現在位置を容易に判断できます。また、この機能は階層内を移動する際にも非常に役立ちます。

次の表は、主要なコマンドモード、各モードへのアクセスに使用するコマンド、および各モードに関連する CLI プロンプトを示しています。

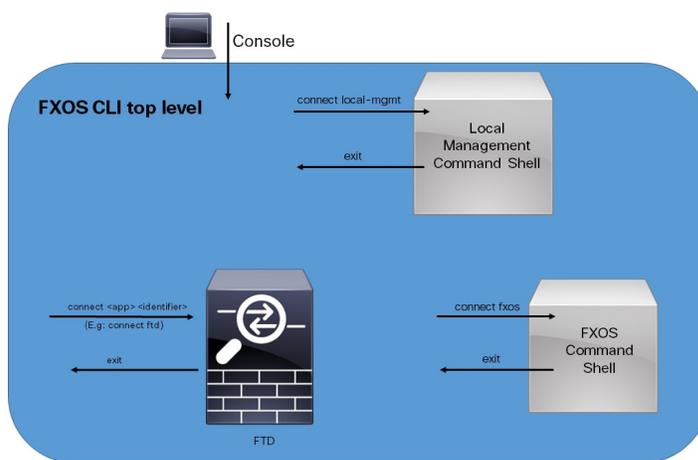
表 1: 主要なコマンドモードとプロンプト

モード名	アクセスに使用するコマンド	モードプロンプト
EXEC	任意のモードで top コマンド	#
シャーシ	EXEC モードから scope chassis コマンド	/chassis #
イーサネット アップリンク	EXEC モードで scope eth-uplink コマンド	/eth-uplink #
ファブリック インターコネク ト	EXEC モードから scope fabric-interconnect コマンド	/fabric-interconnect #
ファームウェア	EXEC モードから scope firmware コマンド	/firmware #
モニタリング	EXEC モードから scope monitoring コマンド	/monitoring #
組織	EXEC モードから scope org コマンド	/org #
セキュリティ	EXEC モードから scope security コマンド	/security #
サーバ	EXEC モードから scope server コマンド	/server #

モード名	アクセスに使用するコマンド	モード プロンプト
ssa	EXEC モードから scope ssa コマンド	/ssa #
システム	EXEC モードから scope system コマンド	/system #

次の図は、FXOS CLI のトップレベルから FXOS コマンドシェル、ローカル管理コマンドシェル、および Firepower Threat Defense CLI にアクセスするために実行できるコマンドの概要を示したものです。コンソールアクセスが必要であることを注意してください。

図 1: Firepower 1000/2100 および Cisco Secure Firewall 3100 FXOS CLI 接続図



CLI に関するオンラインヘルプ

いつでも ? 文字を入力して、その時点のコマンド構文の状態に応じた使用可能なオプションを表示できます。

プロンプトに何も入力せずに ? を入力すると、現在のモードで使用できるコマンドがすべて表示されます。コマンドの一部を入力して ? を入力すると、その時点のコマンド構文内の位置で使用可能なキーワードと引数がすべて表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。